

NOBORIBETSU

市内はもとより近郊の人たちに親しまれている国設カルルス温泉スキー場。

昨年12月15日にオープンした時点では、暖冬のため積雪ゼロでしたが、現在は土・日ともなれば大勢のスキーヤーが訪れ、カラフルなスキーウェアでゲレンデは大にぎわいです。

広報
のぼりべつ

'91. **2.1**
No.484

① ■人口/56,736 ■世帯/19,731 (前月比=人口 +90・世帯 +29) 平成2年12月末現在

成人の誓い 966人



小雪が舞いながらも穏やかな陽気となった一月十五日、登別市民会館は新成人の華やかな振りそでやスーツで彩られました。

当市の新成人は男性五百三十七名、女性四百二十九名の合わせて九百六十六名で、昨年より十五名

少なくなりました。

式に出席したのは男二百三十九名、女三百四十名の計五百七十九名です。

女性の大半は振りそで姿で出席。男性はスーツ姿の中にちらほらかま姿も見られ、久々の再会を喜び合う若者でロビーはこった返していました。

式は、市内の高校の卒業生から選ばれた水野裕幸さんら五名の代表による市民憲章朗読から始まり、市長の「ふるさとへ、日本へ、世界へ羽ばたいてください」と式辞。井野道議、水口登別市議会議長の祝辞に応え、高木博昭さんが代表し「自由と平和を愛し、平和な世界と明るく住み良い都市づくりを目指します」と、成人の誓いを述べました。

式典終了後はお茶会や生け花、記念写真コーナーが設けられ、また抽選会も行われるなど会場はにぎわいを見せていました。

のぼりべつ 題

ンブル

気合い鋭く 初げいのこ

日本空手協会登別支部
鏡開き



スザンネさん
成人おめでとう!

登別マリナーパーク・ニクスのデンマーク人コンビニオン、スザンネ・ダールさんへ一月十七日、市と幌別中生徒会から「二十歳」の記念品がプレゼントされました。

スザンネさんは十一月に二十歳になるため、登別の該当年より一年早い成人式となりました。

デンマークの民族衣裳に身を包み市役所を訪れたスザンネさんへ市長は日本人形を手渡し、デンマークのノアエア校と姉妹校の幌別中学校生徒会長浜野さん、同副会長鳴海さんからはひな人形を描いてある色紙がプレゼントされま

した。

市長は「今日は中東で戦争が始まり大変残念な日となりましたが、日本人は皆平和を愛しています。差し上げた人形も絵も平和の象徴であり、全世界が平和であることを願ひプレゼントします」と語り、スザンネさんは「この贈り物はデンマークの家に飾り、人形や絵を見るたびに日本を思い出すでしょう。今後も日本語を学び、デンマークと日本の交流を進めるような仕事に就きたい」とお礼と抱負を述べました。

新春恒例となった日本空手協会登別支部の空手道場鏡開きが一月十三日、青少年会館で行われ一年のスタートを切りました。

この日の初げいこには、同支部に所属する小学生から大学生まで約五十名が参加。午前九時三十分から組み手、蹴り、突きなどの基本練習を一時間ほど行い、その後、はだしのまま幌別海岸まで約五キロをランニング。海岸ではひざまで水につかり掛け声も鋭く型のけいこに打ち込み、刈田神社境内では奉納の突きを行い、一年間の無事と技術、精神力の向上を祈願しました。

つきやゲームを楽しみました。

なお、同支部では会員を募集しています。入会ご希望の方は事務局尾形さん(☎2783)まで。

けいこの後は労働福祉センターで親ほく会が開かれ、冷えた体を父母らが作った豚汁で暖め、もち



防火の誓いも

新たに...

消防出初め式

平成三年登別市消防出初め式が一月七日に行われ、消防団員など約百二十名が参加し、防火を誓いました。

午前九時三十分消防本部前を出発した参加者と消防車両八台は、市民会館までの道のりを沿道の市民が見守る中、堂々の行進を行いました。市民会館駐車場ではきびきびとした分列行進などを披露。市長の観閲を受けました。

その後、市民会館中ホールへ会場を移し、長年にわたり消防活動に尽力された関係者六十名に表彰状の授与が行われました。



観光ボランティアガイド

2期生始動

「観光客を温くもてなすホスピタリティー運動を全市ぐるみで推進しよう」と、平成元年八月に観光協会など市内十八団体が設立した「登別市観光ホスピタリティー推進協議会」主催の平成二年度観光ボランティアガイド養成講座が十二月二十日からスタートしました。

この講座は市民に登別の知識を習得してもらい、講座終了後、観光登別のPR役を務める観光ボランティアガイドとして活躍してもらうことを目的に開設されており、二期生として九名が応募しました。昨年度の受講生が、登別温泉、地獄谷などで観光客に大変喜ばれた



こともあり、本年度の受講生もやる気満まん。今年度中に七回の講座を受講し、観光シーズン本番に備えます。

つけものフェスティバル

味自慢156点!

今年で十四回を数える「つけものフェスティバル」が一月十一日、市民会館で開催されました。

メインのつけものコンクールには、百五十六点が出品され、参加した主婦たちが自慢の味を競い合いました。

テーブルにズラリと並んだかず漬け、ぬか漬け、魚漬け、かすみそ漬け、アイデア漬けの五部門の作品について昨年度の受賞者らが審査員となり、見栄え、香

り、歯ざわり、味などを慎重に審査しました。

暖冬という悪条件にもかかわらず、どの作品も審査員をうならせるほどのき栄えでした。

審査終了後は、会場に集まった約三百人の市民が出品作を味見して、わが家のつけ物と比較をしていました。

また、会場の一角には「のほりべつ物産会」加盟九社が店開きをし、訪れた市民に格安の地場産品を提供していました。

第14回 つけものフェスティバル

健康づくり趣味講座
登別市国民体育館



文化交流の拠点に

《今年9月オープン予定》

登別中国庭園



観光都市登別の新しい一翼を担う、「登別中国庭園計画」の概要が昨年十二月に開かれた市議会・地域開発並びに大学等誘致促進特別委員会に報告されました。今号では、この施設の建設計画、施設の内容等についてお知らせします。

施設の概要

「登別中国庭園」を計画しているのは株式会社新登別プラザです。

建設地は上登別町四十二の新登別大橋付近で敷地四万一千六百七十六平方メートル。地上五階地下二階建、内部にエレベーターを配した高さ三十メートルの五重の塔を庭園のシンボルに、太平洋を望みながら中国料理などを賞味できる二階建レストラン（百六十名収容）、中国物産や地元生産物などを販売する売店、

中国文化の紹介、各種イベントを開催し中国との交流の場となる会堂（多目的ホール）などが計画されています。また、中国の観葉植物、花、薬草などを植栽し観賞できる温室や茶室、水の流れを観賞し来園する人にやすらぎ与える水

泉院なども建設されます。建物の延べ面積は三千六百四十平方メートル。大型車・普通車合わせて百四十台以上収容できる四千二百九十平方メートルの駐車場も併設されます。建物は中国「清の時代」宮廷建築様式を基礎として北京市園林局、北京清華大学、東京大学の専門家の支援設計等を受け、計画地の状況を十分視察調査した最高のものでなっています。また、新登別大橋など周辺景観と紅葉時期のすばらしさに調和させるため赤・緑・黄色を基調としています。山岳庭園の雰囲気や損傷を避けるために華麗な様式の採用を避けるなどの配慮もされています。

総工費は二十二億三千万円で今年の三月着工、同九月中旬オープン予定、通年制で初年度は年間二十五万人の入場者、売り上げ約六億円を見込んでいます。雇用は正社員二十二名、パート三十名、調理人など一部を中国から呼ぶ計画もあります。



同プラザは昭和六十年に設立され、当初の計画では車の利用者のための沿道サービスの提供と市民・観光客などの健康増進を図るため第一期・第二期計画でレストラン、立体迷路、サーキット場、オートキャンプ場、テニスコートなどの屋外スポーツレクリエーション施設の建設を予定し、開発行為の許可を得て昭和六十一年から二年間かけて一部造成工事に着手しました。しかし、施設の内容等について再検討されることとなりその後着工されないまま現在にいたりました。市は、この計画の推進は新登別地区の振興を図る上で重要で

市も支援

あることから会社側に対し早期に計画の実現が図られるよう要請をしてきました。会社側はこの計画の見直しを行った結果、昨年四月に「中国の伝統的な山岳庭園を基調とした中国庭園を建設する。これは単なるレジャー施設ではなく文化的機能を併せ持たせ日本と中国の友好親善を深める施設とする」との方針が市に示されました。

市としては、この計画が地域周辺の自然景観の特色を生かし、自然に親しむことにより新たな美を引き出そうとするとともに文化的要素を盛り込んだ新しい観光ニーズに対応したものであること、自然景観を最大限に確保するため、最小で最大の効果が上げられる区域とし、環境の保護、保全などに配慮し自然と調和した土地利用が図られること、登別温泉を補充し、新しい観光ニーズと文化的要素をからめた昼間滞在型の観光施設として整備していくこと、自然景観と紅葉時期のすばらしさをマッチさせるため、建物の外観等に配慮していること、

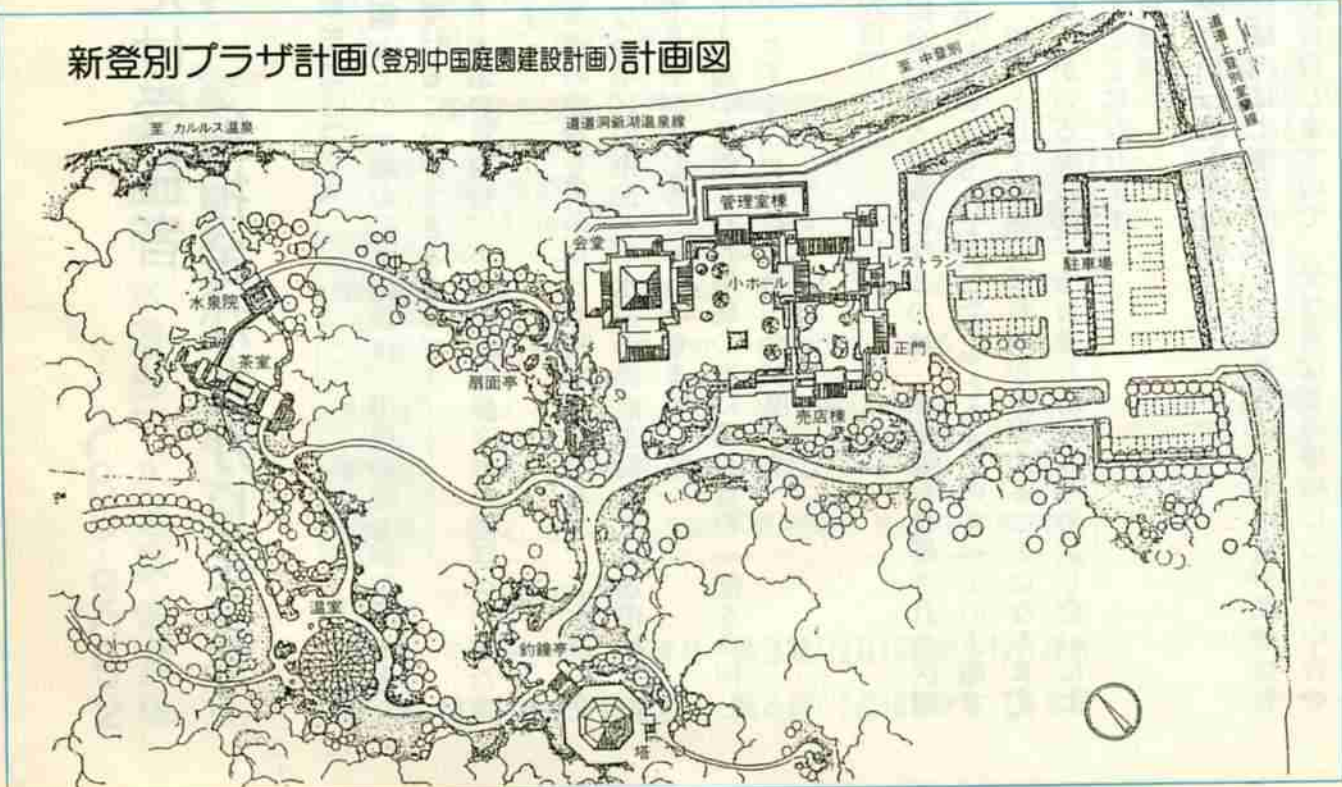
事業の実施にあたり、北京市園林局、北京清華大学、東京大学の専門家の支援を受けた本物の中国庭園であることから観光、教育、文化などばかりでなく国際交流にも寄与できるという考えに立って出来る限りの支援をすることとしています。

二十一世紀に向けた観光地づくり

登別市は、基幹産業の観光をより幅広く魅力のあるものとするため新たな時代の観光ニーズに対応できるプロジェクトを進めています。

昨年七月オープンした「登別マリンパーク」は、海洋ファンタジーと北欧ロマンをイメージしたテーマパークとして開館以来四か月余りで五十万人の万台を突破し快調な入り込みを見えています。着々と建設が進められている「登別伊達時代村」は、中登別町の広大な敷地に江戸時代の街並み、風俗・文化をそっくり再現し観光に役立てようとするもので来年春のオープンを目指しています。これらに中国庭園を加え、登別市は二十一世紀に向けて自然の恵みと素晴らしい温泉郷を拠点に懐の深い観光地づくりに取り組んでいます。

新登別プラザ計画(登別中国庭園建設計画)計画図



自然とくらしをクリーンアップ。快適な都市生活の基礎となる下水道事業が、昨年10月幌別地区を中心に供用開始されました。今号では、供用開始区域内の土地を所有される方に負担していただく「受益者負担金」制度についてお知らせします。

公共下水道事業

4月から申告が始まります。

受益者負担金

一度だけ受益者

負担金がかかります。

■受益者負担金とは？

道路や公園などの一般の公共施設は、市民の誰もが利用でき、その恩恵を受けることができるものです。

しかし、下水道の恩恵は、下水道が完備された地区の方々だけに限られます。

もし、下水道の建設を税金だけで賄おうとすると、下水道の完備されていない地区の市民と下水道の恩恵を受けている市民との間に負担の不公平が生じることとなります。

そこで、下水道の整備された地域の方に建設費の一部を負担していただくとするのが受益者負担金制度です。

■負担する方は？

受益者負担金の納入対象となるのは、下水道が整備された区域（下水道を使用しているしていないにかかわらず）のすべての土地です。従って、原則として土地の所有者が負担することになります。ただし、借地人がいる場合は、所有者と借地人との話し合いにより決めて頂くこととなります。

※受益者の申告から納入通知書まで

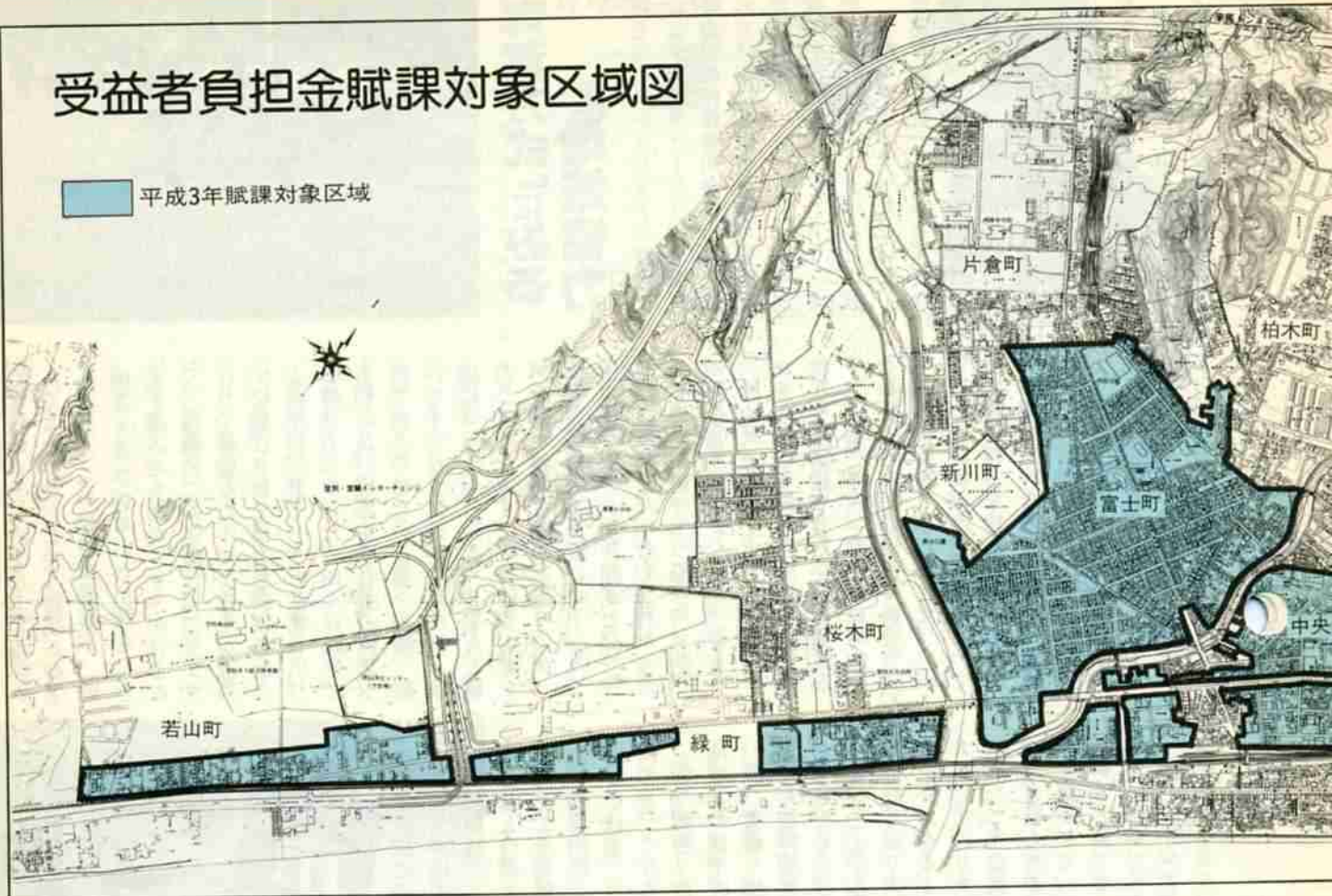
◎賦課対象区域内に土地を所有している方に「下水道事業受益者申告書」を送付致しますので、受益者などの事項について申告をしていただきます。（四月）

◎受益者の方に「地の内容、負担金額、納付期日などを記載している「下水道事業受益者負担金決定通知書」を送付致します。



受益者負担金賦課対象区域図

平成3年賦課対象区域



100坪 (330.57㎡) の土地を所有している場合の負担金額は
 $330.57\text{㎡} \times 525\text{円} = 173,549\text{円}$ (負担金総額)

これを5年間に分割し、更に年4期の計20回の分割で納めていただきます。また、全額一括納付又は1年分(4期分)をまとめて納めることができます。

負担金支払い内訳 (例100坪=330.57㎡)

単位/円

区分 年度	負担金総額 173,549	1期 7月	2期 10月	3期 12月	4期 2月
初年度	34,749	8,949	8,600	8,600	8,600
2年度	34,700	8,900	8,600	8,600	8,600
3年度	34,700	8,900	8,600	8,600	8,600
4年度	34,700	8,900	8,600	8,600	8,600
5年度	34,700	8,900	8,600	8,600	8,600

◎納期は次のとおりです。

第1期/ 7月16日から 7月末日 第3期/12月16日から12月28日
 第2期/10月16日から10月末日 第4期/ 2月16日から 2月末日

※負担金の計算例

■負担金の額・支払い方法・支払い時期は?
 負担金は土地の面積に応じてご負担して頂くこととなります。
 金額は一平方メートル当たり五百二十五円です。

◎下水道事業受 者負担金納入通知書を送付致します。(七月)

登別市 水道部下水道課業務係

☎0159-60552

▼下水道受益者負担金についてのお問い合わせは



「青葉方式」にみる 地域協力の

夜七時、リンクサイドの管理小屋には「青葉スケートリンク実行委員会」の佐藤勝明会長始め十数人の方々がにぎやかに待ち受けていた。

青葉小学校区のスケートリンクは他地区の通常のスタイルとは異なり、学校のグラウンドではないし、管理運営も独特の「青葉方式」だ。青葉小のグラウンドが地盤的にリンク設置に適さないことが歴代のPTAの悩みのひとつだったが昭和六十二年、冬期間の子どもたちの体力づくりと健全育成のために何かできないかと考えていた子ども会（青葉地区連・山本祐三会長）とPTA（当時・佐藤勝明会長）

の悩みがドッキングした時、「なんも学校のグラウンドでなくてもいいんでないか」という新視点が生まれた。この発想の転換が、場所さえあればなんとかなる、とまず地区連を動かすきっかけとなり、同時にこの年前任校でリンク作りを経験した木村茂先生が青葉小に赴任されて協力を約束したことが学校、PTAへと活動を広げる推進力になった。田んぼ跡地で水利の良い現地を所有者の快諾を得て借りられたのが第一段階、続いて十一月十五日から草刈り、整地にはほぼ一か月、学校、PTAと協力して汗を流す。更に四台のポンプをフル稼働しての水張りの後、夜間の霧状散水が続けて十二月二十六日待望のリンク開きとなった。「初年度はただがむしゃらだったね。違う組織が三つ混ざって動くから不協和音もかなりあったし」その反省を「子どもたちにリンクを」という同一目的に集約して次年度へ継続させたいとの熱意が子ども会、学校、PTAに町内会をも組み込んでの実行委員会方式を生み出したというわけだ。

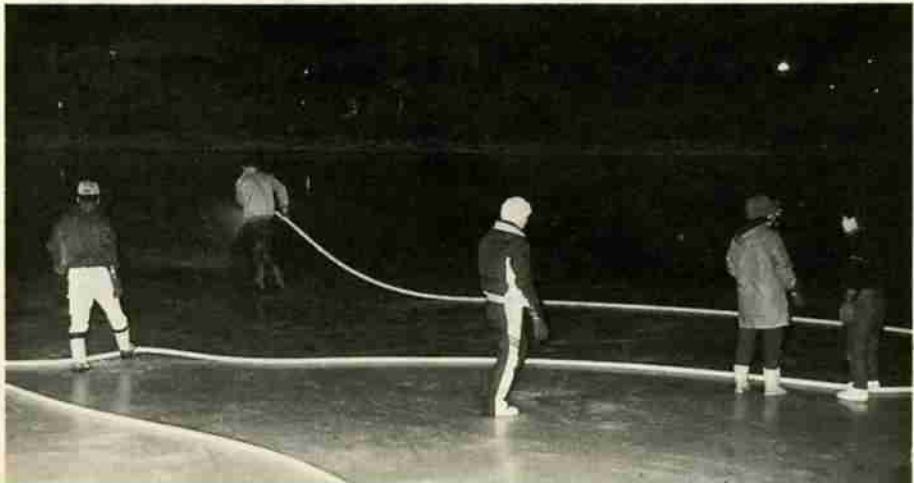
四つの組織が混然一体となつて物心両面の力を持ち寄り、これが「青葉方式」なのだ。そして組織の主導は年齢も環境も様々な男たちである。子ども会と町内会は機械による維持管理、学校とPTAは除雪散水等の状態管理と分担しての協力管理体制は見事で、故に地域で最初に滑れて最後まで滑れるリンクが出来ると皆さん胸を張る。利用はフリーだと門戸を開くゆとりと自信もなづけた。「ただで土地貸してる地主さん始め、物質的にはみんな損だべな。だけど仕事では得られないものを得てる。でなきゃ続かないべき」妙な縄張り意識の解消、学校と地域との高密度コミュニケーション及び柔軟な協力体制、何よりも男たちの仲間意識。青葉方式もたらしたものは大きいという。「夏、サッカー場に来れないかな、もうひと回り大きくすれば公認のリンクになるよ、わき水にニジマス放して釣り大会やるべや。組織活かして大盆踊り大会もいいなあ。」次々に膨らむ夢を語ってくれる。眼を輝かせている一人ひとりを見ていると夢でなくこの人たちがなら本当にやるだろうなと思えてくる。昔、自分が子どもだった頃、回りにこんな大人がいっぱいいいた。

一年を通して様々な行事を自らの楽しみとして手作りする大人たちが子どもをも楽しませてくれた。その姿を真似て子どもらはおもちゃを手作りし、遊びを創り出していったように思う。その意味でも大人は間違いない子どももの、実に魅力的なお手本だったのだ。そういう大人が少くなつたと言うと、どっと照れ笑いがわくのもなかうれしい。「学園都市っていうけど市営のスケートリンクもないしプールは冬閉まるし児童館も少ないし、ね」と行政にシビアな眼も向ける男たちは今、去年は五百人、今年もつと、と二月三日（日）のリンク祭りの準備に忙しい。彼らはまた「今年は市長さんに招待状を送りますから是非、青葉方式の四年間の実績を見に来てください」と熱くラブコールして八時半、そろってリンクサイドへ出ると永を見、再度の水まきにかかった。

市民レポート

リポーター 坂本優穂

地域の スケートリンクIVERS



こんなとこ あんなとこ

私の好きな場所

其の八 樹氷街道

昭和六十三年から通年通行が可能になったオロフレトンネルは、それまで見ることができなかったオロフレ峠の冬の姿を見せてくれます。

登別は残念なことに、オロフレ山の南側にあるため樹氷を見ることはできませんが、トンネルを抜けた壮瞥側は一面樹氷の世界が広がります。

陽の光を受けきらめく樹々と群青色の空がとっても奇麗です。

でも、気を付けてください。道路はアイスバーンまたは圧雪路。見とれて事故を起こさぬように。



市民登場

友達の輪

千葉 征紀さん

(46歳) 鉾山町在住



感じたことを のびのびと

二十才の時、仕事中に怪我をして脊髄を痛め十五年の闘病生活を終え、今は車椅子の生活です。

絵は同じように入院していた絵の先生に、習ったのがきっかけです。学校時代は絵の成績よかったです。退院すると爆発したかのように大きな絵をかきました。絵は上手、下手でない。いい絵を沢山みて沢山かく、多少の約束ごとはあるが、その人が表現したいもの、感じたことを伸び伸びと自由にかき、型にはまらないのがいい。音楽と同じでいい絵というのは、そばにいくとわくわくする。

霧囲気がある

絵はもろに性格が出るね。でもそれが個性だから出せばいい。絵は奥ゆきがある。だからやめられない。これでいいってこともないし、こういうふうにしななければならぬってこともない。面白くてしょうがない。苦しいけどね。

今の子供達忙しいね。だから感受性がなくなる。人間らしさを取り戻すのに鉾山はいいよ。ゆったりするし人に流されない。子供達にこの自然の良さを教えていきたいね。生き方？ そうだね。歩んできた道を振り返った時、ちゃんと道がついている生き方が出来たらしいね。

（リポーター 廣瀬 淑子）

次回は若草町在住の佐久間譲さんです。お楽しみに!!

四月から土曜閉庁

市役所本庁・各支所などの窓口は、四月から毎月の第二・第四土曜日を休みとさせていただきます。

なお、本庁については今までどおり、宿日直者による埋火葬許可

書の発行、死亡届、婚姻届の受理を行います。

※詳しくは、ご利用になられるそれぞれ機関までお問い合わせください。

ふるさと相談コーナー

Q 先日、注文した覚えのない本が突然郵送されてきました。数日後、本の代金の請求書が郵送されてきました。どうしたらよいでしょうか？

A これは押しつけ販売（ネガティブ・オプション商法）といい、福祉やボランティアをつたい文句にして断りにくくしたものなど、巧妙なものが目立ちます。しかし、注文もしないのに一方的に代金を請求するものであり、法的にきつぱりとはねつけることができます。

ご質問の場合は、代金を支払う義務はありません。ただし、発送人に品物の引き取りを請求したときは七日、請求しなかったときは十四日、保管しておく必要があります。その後は、その品物の保管義務がなく、自由に処分することもできます。



人間の価値に変化を もたらす時代に…

へその2

これからの高齢者の 在り方を考える

高齢化社会が着実に進行している中であって、国による高齢者対策が如何に手厚く措置されようとも、自らが豊かに人生を送ろうとする意欲がなければ満足し得ないものが残るのではないだろうか。それは、他からされている「という受身に対する気持ち」が根底にあるからだと思います。

今最も大切なことは、高齢者が人間として、社会の構成員として社会的役割を果たせるようなシステムをつくることではないかと思

う。「定年」という職業生活の終了が、決して人生の終点ではない。逆に、サラリーマン生活と人生を経て蓄積された能力や技能を収入をあてにする強制的労働ではなく、自由な仕事として発揮できる絶好のチャンスだと思うのです。

そこで留意しなければならぬことは、高齢者が過去に身につけた能力や技能が、現代・未来社会に通用するためには、常に新しい知識や技能を吸収し付加価値として身につけることが求められるのです。そのことによって青少年や熟年者に共感を得られ、存在感を認めさせることになると思うわけです。また、このような高齢者の生きざまは、言葉を変えて申せば、自分にとってボケないためにどんな役割を持つか、どんな目的を持つか、あるいは仲間を持つかということと合致するわけです。

登別市が開設している「老人大学」に参加されている方が大勢おられますが、その方々はどんなことを望んで学習しているのでしょうか。それはひとことで言うて、生きがい。を求めてに尽きるのではないのでしょうか。そのことはとりもなおさず存在感や所属感を得てわがまちのほりべつにお役に立ちたい、そして住みよいまち登別・住みたいまち登別というまちづくりに貢献することに通じるの

ではないでしょうか。

このことを、より具体的に示した高齢者の学習は

- 豊かな経験や知識に磨きをかけて社会に役立てたい。
- 趣味や教養を生かして生活を豊かにしたい。
- 地域の行事に進んで参加してま
- ちづくりに貢献したい。
- 近隣とよやかにふれ合いたい。
- からだの安全と健康の保持に努めたい。

等々の目的(願い)をもっているのだと思います。

先に述べたように、二十一世紀社会の到来は目前に迫っています。が、めまぐるしい変化の渦中において、高齢者と言えどもその人間としての価値に変化をもたらすことは必然のなりゆきと言えます。とり残されたい、若者に遅れをとらないという意気込みが大切であり、そのために学ぶことへの意欲をかりたせようではありませんか。

少くして学べば

壮にして成すあり

社にして学べば

老いて衰えず

老いて 学べば

死してなお朽ちづ

(江戸後期の儒学者

佐藤一斎 訓より)

生涯教育推進室

第十二回 市民総合スポーツ祭

第十三回登別市民総合スポーツ祭実行委員会は、市民の健康保持と地域住民の連帯感を高揚することなどを目的に総合スポーツ祭を開催します。

▼日時 二月十日(日) 午前九時

▼場所 市総合体育館

▼対象 全市民

▼種目 玉入れ競争、テーブルカッ
トゲーム、ゲートインボール、
ボール送り、その他抽選会もあ
ります。

▼その他 別表のとおりバスが運
行されますのでご利用ください

(無料)

▼問い合わせ 市総合体育館 ☎
5552

第13回 登別市民総合スポーツ祭送迎バス運行表

温泉地区		幌別地区		鷺別地区		上鷺別地区	
停留所	時刻	停留所	時刻	停留所	時刻	停留所	時刻
(往路)							
登別温泉ターミナル(発)	8:00	登別高校前(発)	8:05	鷺別支所前(発)	8:20	上鷺別入口(イーストショップ前)	8:20
温泉中学校前	8:03	幌別ホームストア前	8:08	鷺別中学校前	8:23	旭ヶ丘団地前	8:22
中登別(小林商店前)	8:05	社宅十字街	8:10	東鷺別	8:25	若草小学校前	8:24
登別(フサさいとう前)	8:10	園田病院前	8:11	はまなす団地前	8:28	若草1丁目	8:26
登別中学校前	8:11	幌別西口	8:13	帝國薬業前	8:30	若草2丁目	8:28
富浦駅前	8:15	幌別小学校	8:15	西富岸	8:33	若草公園入口	8:30
すすらん団地前	8:20	市民プール前	8:17	汐平団地前	8:35	新生町1丁目	8:32
幌別東小学校前	8:25	幌別コアタウン	8:20	総合体育館(着)	8:40	新生町2丁目	8:34
幌別本町	8:28	青少年会館前	8:25			富岸小学校前	8:36
登別大谷高校前	8:33	富士町5丁目	8:27			総合体育館(着)	8:40
津村商店前	8:35	新川町3丁目	8:30				
総合体育館(着)	8:40	桜木団地前	8:33				
		総合体育館(着)	8:40				

税の申告時期(二月十六日～三月十五日)です

申告相談をご利用ください

市は、市道民税・所得税の申告相談を開催します。

お気軽にご利用ください。

申告が必要な方は、平成三年一月一日現在登録市内に居住している方で、平成二年一月一日から平成二年十二月三十一日までに収入のあった次の方々です。

●給与所得者で会社で年末調整していない方

●その他収入のある方(不動産・年金・譲渡・事業等)

※申告には、次のようなものが必要ですので持参ください。

●給与・年金所得者は源泉徴収票

●その他収入のある方は、その収入を証する資料

〈申告受付日程表〉

会場	月日
市民会館	2月18日
登別公民館	2月21・22日
観光協会	2月25日
鷺別公民館	3月7～9日
ひまわり園	3月12・13日

※この日程以外の日には市役所第2庁舎で申告受付しています。

〔室蘭税務署〕 申告受付日程表

会場	月日
鷺別公民館	2月18・19日
市役所第2庁舎	2月21・22日
観光協会	2月22日

※各会場での受付時間
平日 9時30分～16時30分
土曜 9時30分～11時30分
午前中は大変な混雑が予想されます。

※各会場での受付時間
(9時30分～16時00分)

平成三年度

消費生活モニター募集

道と市は、生活必需品の価格や出回り状況、物価問題に関する情報などを収集し、消費者の意見や要望を消費者行政に反映させるため、北海道消費生活・物価モニターと登録市消費生活モニターを募集します。

▼資格 道・市モニター：市内に居住する二十歳以上の主婦

▼モニターの仕事 毎月十日、道・市が指定した商店の小売価格調査、アンケート調査など

▼募集人員・道消費生活・物価モニター：十二名・市消費生活モニター：十六名(登録温泉地区二名、登録地区二名、幌別地区六名、鷺別地区六名)

▼委嘱期間 平成三年四月一日から平成四年三月三十一日まで

▼申し込み期限・道モニター：二月二十日まで・市モニター：三月十日まで(定員になり次第締め切ります)

▼申し込み・問い合わせ 市民課 (☎1855)

道議・市議選挙立候補 届出説明会を 開催します

統一地方選挙が今年四月に実施されますが、各級選挙に立候補を予定している方を対象に「立候補届出説明会」を開催します。

各関係者はご出席ください。

▼日時 二月二十日(水)午後二時から

▼場所 市役所第二庁舎(二階会議室)

※当日は、立候補届出に必要な諸用紙の交付も行いますので必ずご出席ください。

▼問い合わせ 選挙管理委員会事務局 (☎9143)

北海道有朋高等学校 通信制課程生徒募集

北海道有朋高等学校(道立)は、平成三年度の生徒を募集します。

▼入学資格・中学校卒業後及び平成三年三月中学校卒業見込みの方・文部大臣が中学校卒業者と同等以上の学力があると認められた方・本校の学校長が認めた方(資格認定試験による)

▼募集人員 普通科六百五十名

▼検定料 無料

▼出願方法 簡易書留か直接持参(持参の場合日曜・祝日・土曜日の午後は受け付けません)

▼出願書類・入学願書・個人調査書・環境調査書・誓約書・納金・受講等手続き用紙・出願補助票・身分証明用写真はり付け用紙(願書等に使用する写真は最近五か月以内に撮影した横三センチ、縦四センチ、上半身脱帽、正面、バック無地、裏に必ず氏名、生年月日を記入のこと、計五枚)

▼出願場所 北海道有朋高等学校

「北方領土返還要求 特別キャンペーン'91」

＝1月21日～2月20日＝

“心ひとつに北の四島” 択捉・国後・色丹・歯舞の返還に向け世論の輪を広げよう!!

〒064札幌市中央区南十四条西十二丁目 ☎011-563-1105
▼出願期限 三月十九日まで
※詳しい内容は、同高校までお問い合わせください。

登別市内で静かなたたずまいを見せる森や路傍、寺社には今日でも約三十五基の馬頭観音(観世音)がある。

観音は苦惱する人の声を聞き救済することを本願とするので、この観音をもって馬のめい福を祈り奉ったものであろう。人間に良く慣れ力が強く走るのも早く利口な動物なので、人類の歴史上では約五千年前にメソポタミアを中心とする古代都市文明の遺跡からウマの飼育のあとが見られ、中国でも約三千五百年前

の殷王朝時代にウマに引かせた二輪の戦車や多数のウマの殉葬が発見されている。

日本のウマは、古代に朝鮮半島を経て渡来した人たちにより移入されたものである。

北海道へのウマの最初の移入も飼育の盛んな東北地方南部氏から逃れ、渡道した津軽安東氏の時代なのであるかは不明であるが、しかし約百五十年後、蠣崎氏から松前氏に改名した(一五九九)松前慶広の時には同地方で少数のウマが使用されている。

登別地方で初めてウマが見られたのは寛政元年(一七八九)国後・目梨でアイヌらが決起した「寛政

の乱」のときと言われている。乱が起こってから二十五日後に知られた松前軍は、砂原(森町東南)からイワシ網船七隻に分乗し海上からエトモ(室蘭)に来たがこの時ウマ二十頭が同時に運搬され、そのうち十頭が登別を通過している。

東蝦夷地(太平洋側)で見られた初めてのウマであった。この様な事件の発生や外国船が渡来し、特にロシアが北方から南下するようにになると幕府は蝦夷を直轄とし南部・津軽藩に警備を命

じ、幕府役人や北方警備の武士の交通を便利にするために箱館から根室方面への沿岸道路を初めて開削して宿泊所を設け宿場から宿場へ荷物などを送る駅通の役をする者も命じた。どうやら箱館から釧路までウマで行けるようになったのであるが松前藩が再び治めるようになるとまた途絶えてしまう。

安政二年(一八五五)東蝦夷地海岸図台帳によると「ホロボツの会所は良い家で建坪百四十七坪、鍛冶小屋、大工小屋、秋味小屋、

郷土史点描 ⑩

登別の開拓と動物たち

「ウマとのかかわり」

登別郷土文化研究会 宮武 紳一



大正4年、登別-登別温泉間に初めて走った馬車鉄道

雑物蔵四か所あつてアイヌの家五十二軒、男女二百五十七人が居る。馬は七十二頭、そのうち子馬は三十四頭」と記録され、相当数ウマも増加しているが、この時代は江戸幕府の第一次蝦夷地直轄(一七九九)から約五十五年を経過した後のことであった。

北海道の名付け親、松浦武四郎が安政五年(一八五八)登別温泉に行く途中カモイワツカ(中登別)で綺麗にわき出ている水を飲み一休みして山路を登るとはるか南の下方に子馬の群が見えたのである。

文筆にすぐれた武四郎は、早速次のうたを詠じた。

山かげに
今や清水を
かひつらん

群ぐる駒の
いさましくみゆ

北方警備のため南部藩は恵山から登別までの警備に当るようになったので、南部特産のウマを交通用馬として移入していたのであるうか。登別には官馬として飼育され、かなりの数のウマが居たものと当時のうたからも推測される。

供託制度百周年

◎供託とは……

例えば「地代・家賃を受けとってもらえないときに、これを国(供託所)に預けることによって地主・家主に支払ったと同様の効果が与えられる」というものです。

このほか、営業保証金の供託など各種の供託がありますが、法務局ではこの制度が平成三年一月一日をもって百年を迎えるのを契機に、供託制度が一層広く国民生活に定着するよう努めています。

▼供託に関する相談等は、札幌法務局室蘭支局(〒050室蘭市日の出町一十八ー二十一 ☎06738)まで

「白い粉」の撲滅に

ご協力を!

覚せい剤や麻薬など「白い粉」の汚染が拡大し、乱用者も主婦や学生にまで及んでいます。

税関では覚せい剤など「白い粉」の撲滅のため、世界の国々とも協力して日夜水際での取締りを行っています。

「白い粉」に関して見たり聞いたりしましたら、さ細なことも税関へ通報してください。

▼通報先 室蘭税関支署(☎227201)

踏切は必ず

一旦停止!

雪道は、踏切事故が多発します。次のことに気を付けましょう。

◎踏切は必ず一旦停止をし、安全を確認しましょう。

◎踏切遮断機に入ったときは、そのまま遮断機を押し出し線路外に出てください。

◎車が先づまりしているときは、踏切内に入らないでください。

◎踏切上での変速はエンジンの原因となります。

◎踏切で車が動けなくなったら、非常ボタンを押ししてください。

※北海道旅客鉄道(株)では、「列車及び乗客が無事」ときは、損害金はいたしません」とのことです。

道路はキケン!!

スキー・そり遊び

